
はじめてのどーこーかい

石定 ン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はじめてのどーこーかい

【Nコード】

N2108BA

【作者名】

石定 ン

【あらすじ】

中二病患者の自称超能力者が世界に挑む……前に手始めに同好会を作る。

00mなので後何分でつくかということをも僕のすばらしい脳で計算してみたがまったくわからない。これはすごい難問だぞと思いがながら歩いていると電柱にぶつかった。

世界は非情で僕が潜在的な能力者であるためなのか運が強烈に悪く、おみくじをひいたものはいいものの決まって凶か大凶。福袋を買ったらセーターに穴が開いていたり、携帯電話を購入したら結局その日に池に落とす。などなどの伝説があり、それを同級生に教えてやると、わーすげーなどという賞賛のまなざしを浴びせてくるものだから気分がよい。

そんなことをかんがえていると、学校の前についた。なるほど時刻はすでに八時三十分であり、これはもう確実に遅刻だなんて心の中で騒いでいると教室の前につき、廊下の前で立つこと十五分、教師がなぜ遅刻したのかを問い詰めて来て、舌戦が繰り広げられた。僕が完全に勝利すると、教室の中に入って同級生たちの賞賛のまなざしをあび、かばんを置いたあとに生徒会長である女子に質問しに行くため立ち上がる。ホームルームはとくに終わったようで、生徒会長の前に立つと

「何？ 羽生君」

「新しい部活を作りたいんだ」

「それなら顧問の先生を探してきてくれないかしら」

「顧問は僕が務めるよ」

「それなら同好会扱いだけど」

「それでもいいや」

「名前はなんていうのかしら」

「潜在的超能力者の憩いの場」

と、言うと、生徒会長が噴出し、こちらを向いてきた。なんだおかしいか一般人。貴様ごときが僕みたいな超能力者になうわけないんだぞ。

「まあいいわ。同好会なら予算も下りないし。部室は？」

「部活棟の一階に部室があいてるだろ」

「そうね。まあいいわ。とりあえず生徒会室に行かないとあなたの同好会は承認できないから少し待ってて」

「仕方ないから待っててやる」

そんな問答を続けていると、周りからはまるで怪物を見るような視線と、ひそひそと噂話が聞こえてきた。

「あいつまた変なことするつもりだぞ」

だとか

「最近特に変だったけど」

だとか

「成績も悪いのに勉強もせず」

だとか

「どうしてこんな進学校に入ったんだろう。お兄さんは頭いいのに」
だとか

「そういえばお兄さんこの前陸上部のマナージャーになっただけらしいわよ」

だとか。

僕の噂話だったのに途中から兄の噂話になっただけなのが不愉快だと思っていたら生徒会長が戻ってきた。

「はいじゃあこれが認証書。今日の放課後から同好会活動を許可します」

「さっさとよこせ」

不愉快だ。不愉快すぎる。みんな僕に嫉妬しているんだ。このルサッチマンどもめ。

不愉快そうに授業をうけ、不愉快そうに学食を食べ、不愉快そうに午後の授業を受け、不愉快そうに放課後がやってきた。

すぐに部室棟へ行くと、扉を蹴破り中に入る。

扉を直しているの上に座ると、兄に昼間借りてきたSF小説を読み始める。

壁の向こうから楽しそうに笑う声や、窓の外から運動部たちの快活な声。すべてがうらめしい。

陽が傾いてきた。世界は非情だ。この学校に潜在的な能力者がいないのか、それとも僕の運が悪いのか、いずれかは全国進出もはたそうと思っていたのに畜生。

兄にホームページを作ってもらおう。そうしよう。

どっちにしる世界は

「すみません。ここって潜在的超能力者の憩いの場ですか？」

非情ではないのかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2108ba/>

はじめてのどーこーかい

2012年1月5日11時46分発行